新京日日新聞 朝刊

地上もまた我が凱歌高し

頻々たる不法侵犯 我が方斷乎擊退す

不遜、外蒙ソ軍の動き

滿蒙國境を侵し遠くノモンハン一帶の滿洲國領土に不法越境した外蒙ソ聯の空陸部隊は、ホロンバイルの平和をかき亂し空軍部隊の如きは滿蒙國境警備の滿洲國軍を不法にも爆擊或は對地攻擊の暴戾を繰返すに至つたので隱忍自重その行動を監視しつゝあつた關東軍は、日滿共同防衛の本義に則り、斷乎これを國境線外に擊攘すべく五月中旬ホロンバイルの大草原に空陸の兵を進め、地上部隊は遠く越境せる外蒙ソ聯部隊の側背を迂回してハルハ河畔の渡河點を封鎖し、バルシヤガル、ノロの兩高地の正面よりする滿洲國軍の包圍作戰と相呼應し、一望千里の大曠野に殲滅戰の火蓋を切り、一方草原の基地にあつたわが空軍の精銳も日滿地上進擊に協力空陸よりする大反擊戰を展開し外蒙ソ聯の空陸部隊に大損害を與へ六月一日の拂曉完全に國境線外に擊退したのである

然るに外蒙ソ聯軍はその後において再び滿蒙國境のハルハ河を越え、その空軍部隊は五十機或は二百機を以て滿洲國の要衝である甘珠爾廟、將軍廟、ハロンアルシヤン溫泉地帶を爆擊し、また地上部隊は機械化部隊及び有力なる火砲部隊を以てボイル湖畔のハルハ廟、ノモンハン(腦門汗)將軍廟、アムクロ(阿穆古朗)の各地を攻擊せしめるに至つたが、わが日滿防衛當局はこの外蒙ソ聯軍の目に餘る暴戾行爲を默視するに忍びず、一先づ外務當局をして外蒙側に警告を發せしめて猛省を促したのであるが、外蒙側はこの滿洲國の平和的解決の事件處理提案を蹂躪し依然として挑戰行動を重ねたので、日滿軍は極度に憤激し空軍の精銳をして外蒙ソ聯空軍に反擊の鐵槌を加へその企圖を制し、その活動を封鎖するため根據地タムスクを空爆し且つ二百數十機の戰鬪機群を擊墜粉碎し世界空中戰史を飾る赫々たる戰果を收めたのである、一方地上部隊は不氣味な沈默のうちにハルハ廟、アムクロ、ノモンハン、將軍廟近くに襲來出沒する外蒙機械化部隊を隨時隨所に反擊し、廿三日、廿四日の兩日は戰車、裝甲車數十臺を先頭に將軍廟前面に襲來した步騎聯合の外蒙軍に對し徹底反擊の火蓋を切り廿五日拂曉にはその戰車十臺を擊破したのを手はじめに多大の損害を與へて擊退した、空に陸に敗戰に次ぐ敗戰を重ねる外蒙軍は敗勢挽回を企圖して執拗にも逆襲を試みるに至り滿蒙國境は俄かに緊張を呈して來た

地上部隊の活躍

國境を嚴守の滿軍 殺到する敵部隊を反擊

滿蒙國境に風雲急を告げるや國土防衛重大使命を帶び、ホロンバイルの砂漠地帶に蹄鐵の響きも勇ましく堂々の進軍を開始した滿洲國軍は、將軍廟をはじめ腦門汗(ノモンハン)、ハルハ廟の前面に進出し執拗に繰返す外蒙ソ聯軍の機甲部隊を反擊しつゝ戰機熟するを待つた、滿洲國軍が砂漠地帶に出動して既に月餘に及び、水もなく宿營地もなき廣漠たる草原に困苦缺乏に耐えつゝ外蒙ソ聯軍と小衝突を繰返しつゝ滿蒙國境の風雲に峙してゐたのである、晝は烈日砂を燒き、夜は豪雨沛然と降つて氣溫零度となるバルガ地帶で外蒙ソ聯空軍の不法爆擊の巨彈に身を晒しつゝ國境線を護り續けたのである、然るに六月中旬より外蒙地上部隊の不法攻擊は物凄く數十臺の戰車、裝甲自動車を先頭に數百の外蒙ソ聯兵が襲擊して來つた事は連日繰返へされ衆寡敵せず守備地點を死守するを得なかつたことも度々であつたが、滿洲國軍の反擊に遭ふ敵は躍起となつてその兵力を增加し六月末にはハルハ河の國境を渡河して滿領內に不法侵入した外蒙ソ聯軍の兵力は莫大な數に達するに至つた

廿二日深更敵越境 わが軍反擊の火蓋切る

【〇〇二日發國通】滿蒙國境警備の日滿軍は六月廿二日深更外蒙ソ聯軍が不法にも機械化部隊を以て將軍廟及びボイル湖西方地區に越境襲來し來つたので直にこれに對し反擊の火蓋を切つた

【〇〇二日發國通】外蒙ソ聯軍はわが空陸相呼應する日滿軍の嚴たる國境の護りを犯して兵力を增加し不法侵犯を敢てしつゝあるが、西將軍廟前面の敵は廿三日未明以來廿四日夜半まで數回に亘り國境線を犯しわが鐵壁の陣に遭つて潰滅に等しい打擊を受けほうほうの態で逃込んだ、即ち廿三日拂曉步騎兵の混合軍に配するに戰車、裝甲車約卅臺をもつて西將軍廟前面に侵入して來つた敵はわが嚴たる護りに戰車は火を吐き騎兵は馬を棄てゝ敗走したが、これにも懲りず廿四日午前一時頃戰車、裝甲車約五十臺に野砲七門を動員した步、砲、騎兵を主力に再度不法攻擊を敢行した、午前一時より約四時間に亘り敵野砲は間斷無く西將軍廟前面の砂丘高地に炸裂しその數は約二千發、ために砂丘は形を變へる程の猛攻を受けたがわが軍は隱忍一發の應酬も行はず敵を間近に引寄せる作戰に出た、その間敵は更に戰車裝甲車の數を增して頃は好しと見たか徐々にわが方に向つて前進を開始し四、五百米に接近した時堪忍袋の緒を切つたわが銃砲火器は一齊に火を吐き曉白む草原にわが軍得意の肉薄攻擊の火蓋が切られたたぢろぐ敵を追射また追射、浮足立つたところを機銃掃射の掩護下に追擊に次ぐ追擊、あわてふためく敵戰車は附近の濕地にあがき銃を擲ち劍を捨てゝ轉ぶやうに草原の彼方に四散した、本戰鬪において敵は戰車、裝甲車六、その他拳銃、小銃、野砲、同彈藥等多數を遺棄した外死傷者多數を出した、わが方の損害は戰死五、負傷十五である

廿五日再び應戰 敵戰車十臺を鹵獲す

【〇〇二日發國通】滿蒙國境の形勢は廿二日彼我空軍部隊の間に交えられた大空中戰以來頓に風雲急を告げ外蒙ソ聯は西はボイル湖西方地區、東はハロンアルシヤン前面に亘る國境線一帶に戰車、裝甲車を交える大部隊を陸續集結、殊にノモンハン附近及びその東南地區には堅固な陣地を構築し日滿軍に對し抗戰的態度に出でつゝあつた所廿五日午前七時頃外蒙ソ聯軍の機械化部隊約三百は戰車、裝甲車廿數臺を先頭に將軍廟西方約三キロの地點に不法越境襲來して來つたので、日滿軍は直ちにこれに應戰約一時間の後潰滅的打擊を與へこれを擊退したこの戰鬪に於て日滿軍はソ聯軍戰車十臺を鹵獲した

戰車等多數鹵獲 殊勳の滿軍活躍狀況

【〇〇二日發國通】ボイル湖西北面を警備中の滿軍は同地前面の敵兵力增大と共に極度に緊張、國境線確保の完璧を期し士氣益々旺盛であるが、六月十九、廿の兩日に亘る數度の戰鬪により敵の不法越境を阻止し敵に甚大なる損害を與へ、裝甲車一(砲一、輕機一を搭載)トラック一(砲、重機、彈藥滿載)無電機一を鹵獲した、戰鬪狀況は左の通りである

一、十九日午後一時及び同五時十分の兩回に亘り外蒙ソ聯空軍は十八機編隊、十三機編隊で滿領ツアンガンオボ、ボルンデルス上空に不法越境し來つたので同地守備軍は寡兵よくこれを攻擊約廿分にして敵を國境線外に驅逐した、更に同日午後十時五十分敵は戰車卅臺、兵力約一千をもつて同地方に侵入し來り滿軍はこれに對し約一晝夜に亘り交戰、敵に肉薄攻擊を敢行廿日午前一時卅分に至りこれを國境線外に潰走せしめた

一、十九日早朝來ホルンデル附近の敵狀偵察の滿軍將校斥候は廿日午前一時敵裝甲車の包圍攻擊を受けたが勇敢にもこれに肉薄包圍陣を潰走せしめ砲、重機、彈藥を滿載せるトラック一を鹵獲悠々同三時半歸還せり

一、敵は再三に亘る敗戰にも懲りず廿日午後七時戰車廿兵力約三百をもつて再びボルンデルス方面に侵入し來たので滿軍はこれと應戰擊退せり

英國極東政策の根本も觸れん

駐日英大使、記者團に答ふ

【東京國通】クレーギー駐日英大使は葉山別莊にハバート津領事を迎へ直ちに同領事より現地の情況を聽取し東京會談に臨む方針について種々打合せ後記者團との間に左の如き一問一答をなしたが十八日の英下院でチエムバレン首相が東京會談は局地的問題に限定されるであらうと言明したに對しクレーギー英大使は英國の極東政策の根本問題にも觸れる可能性あることを示唆したのは注目される

問 會談は何時から始めるか

答 日本外務省の方針による

問 會談の內容如何

答 原則的には天津問題に限る心算だが天津問題と關聯して極東問題の根本的分野にもふれることゝなるかも知れない

問 犯人引渡は如何するか

答 今のところ何ともいへない

ハ領事も會見

【葉山國通】二日橫濱着葉山の英大使官別莊に落付いたハバート天津駐在主席領事は記者團との間に左の如き一問一答をなした

問 英國現地代表は貴下一人であるか

答 然り

問 現地の感想如何

答 英租界の隔絕後は非常に窮屈である

問 東京會談の見透しは如何か

答 樂觀してゐる、天津問題を全部東京で解決したいと考へる

問 會談は何日始つてどの位かゝると豫測してゐるか

答 現在のところ分らない

問 會談の範圍は天津問題だけか、或はまた英國の對支對日根本政策にも觸れるか

答 それはクレーギー大使に聞いて呉れ

問 暗殺犯人は引渡すか

答 クレーギー大使との協議の上でなければ何んとも言へない

問 クレーギー大使との連絡ありや

答 直接の連絡はない

問 會談における英國側の提案如何

答 クレーギー大使に會ふまでは何んとも言へぬ

加藤公使着京

【東京國通】天津租界問題解決の東京會談に現地機關首席代表として參加する加藤外松公使は田中領事、與謝野大使館書記官等を帶同二日午前七時十分東京驛着直ちに外務省において澤田次官と會見、現地情勢を報告說明したる後一旦歸還の上、同十一時半再び登廳して栗原東亞局長以下關係官との打合せ會議に臨み現地方面の情勢ならびに意向を傳達、更に中央の方針を聽取したる後種々意見の交換を遂げ同夕刻外相官邸において有田外相と會見、東京會談に關する最高方策につき重要協議を遂げた

人事往來

▲早瀨穎二氏(會社員)二日來京大都ホテル
▲生越伊助氏(同)同
▲長谷川周重氏(同)同
▲平澤職氏(國際運輸)同
▲阿部正喜氏(會社員)同
▲篠爪通氏(鐵業)同
▲山崎太郎氏(昭和製紙社員)同
▲佐野十平氏(同)同
▲佐野治郎氏(同)同
▲渡邊美雄氏(同)同
▲小松伊之助氏(織物業)同

偶語

天津租界問題に關する我方の斷乎たる措置に手も足も出なくなつた老獪英國は東京會談といふ外交々涉にもつていつた▼或は經濟報復を說き或は武力壓迫を唱へて我國の一步後退を策したが▼我方は單なる一時的の出來心でもなく萬一の倖僥を目的としたものでもない聖戰の目的たる東洋平和の確立てふ確固不動の國策から出發したものだ▼今更英國の恫喝に屈するなど夢想だもなし態はざるところ我方より云へば現地解決も外交々涉による解決も其の結果に變りはない▼たゞ英國側から見れば行詰りを打開するために交涉當局を更ふを便利とするに過ぎまい我當局が外交々涉の提議に應づるもまた單にこれだけの意味であらう▼交涉決裂事態惡化は望むところでないが我方針の貫徹は絕對である

本日朝・四頁

租界問題東京交渉 英の失敗ならん
現地第三國人側觀測

【北京一日發國通】租界問題東京交渉の成行きについては北京、天津を始め在北支外人間に多大の關心を呼んでゐるが第三國人たる獨伊米佛人の間では交渉は失敗に終るだらうとの見解が支配的である、その論據としては

一、日本は天津英租界に起つた事件處理から發展していまでは個々の問題から離れて英國の支那における援蔣行動の全面の中止と云ふ根本的問題を目標に置いてゐる

一、これに對し英國は現在なほ今次交渉においては天津租界問題の現地處理を便宜的に東京に移したに過ぎないとの解釋を保持してゐるとの二點を擧げ兩者間の解決目標には出發點から既に大いなる喰ひ違ひがあり東京交渉は開始後數日を出づることなく失敗物別れとなるであらう即ち日本は現在迄の經過に徴するも現地の强硬對策と國民輿論の沸騰は到底要求の緩和乃至歩み寄りを許すとも見えないし一方英國は日本の全面的要求受諾は英國の支那における搾取的地位よりの退場であり且つその傀儡として來つた蔣介石に注ぎ込んだ莫大の費用の回收放棄を意味するので飽までも地方的問題處理の一本槍で突き進むであらうと云ふのである

と關税の問題を熟し柿の落ちる如く極めて自然に解決せんとする肚である、其結果英國に起つ際を與へず英國の保障が實際上全然無價値なるを中小諸國に示威することゝなる

迫る歐洲の危機
九月局面展開か
ダンチッヒ問題續る各國の動き

【ワルソー一日發國通】ポーランド側の確實なる筋より得た情報によればダンチッヒを續る事態は極めて重大であり、ダンチッヒ問題は九月頃和戰何れかに決せられるものと思はれヨーロッパ政局の重大な局面の展開があるものと見られてゐる

勢にある、ローマ外交界でこのまゝ推移すれば不安は案外早くその爆發點に達し八月には最も重大な危機が來るのではないかとの觀測を行つてゐる

要は獨英の面子
もはや繋爭問題に非ず

【ベルリン一日發國通】ドイツ政府筋の否定にも拘らずダンチッヒ解決につき雜多の噂さが飛び今や歐洲には流言時代を現出してゐる、ダンチッヒ回收クーデターの時期についても八月說、九月說とあり一般にナチス黨大會前後を危機とみてゐるがヒトラー總統の秘策奈邊に在りや確實なる情報は却々傳はらぬ、しかし有力消息筋ではヒトラー總統は荒療治はすまいと觀てゐるダンチッヒのドイツ歸還はドイツ政府の意見に依れば既に國際的に認められた既成事實で最早や繋爭問題ではなく轉じて獨英の面子の問題化してゐる、從つてドイツに取つてダンチッヒ問題の解決は英國の面子を決定的に地に落す場合にのみ勝利を意味することの時期をヒトラー總統は睨んでゐるとみられる、而もその實現方法たるやダンチッヒの政治、經濟ならびに國民組織を百％ナチス化した上輕い一個撃を與へたのみで、殘る外交

ものとドイツ政府筋は確信してゐる、以上の形勢の下における解決の具體的方式として傳へられるところは次の通り

一、ダンチッヒのナチス親衞隊及び突擊隊の自動車隊、義勇飛行隊ならびに警官隊の武裝を强化する

一、友邦訪問の形式でゲーリング空相が乘り込む

一、國際的危機特に英國の弱體暴露の瞬間を選んでダンチッヒの獨立を宣言する

英外相演說
獨牽制の毒舌

【ローマ卅日發國通】ハリファックス英外相は廿九日英國外交協會晩餐會席上

新たなる侵略が行はれる場合には英國は直ちに實力を以てこれに抗爭する

旨闡明、ダンチッヒ問題をめぐりドイツ牽制の毒舌を行つたが、これが獨伊に與へた感じは極めて惡く、獨伊は猛然これに反擊を加へはじめ歐洲の情勢は一段と惡化の形勢を示し從來ダンチッヒ及び廻廊問題で低迷してゐた英獨の睨み合ひは佛伊間に内面的燃燒を續けて來たチュニス問題と共に俄然表面化せんとする情

英佛大使等
ソ外相と會見

【モスクワ一日發國通】消息通筋の報ずるところによればシーズ駐ソ英大使、ナジャール佛大使及びストラング英特使は一日正午相携へてクレムリン宮にモロトフ外務人民委員と會見約二時間に亙つて交渉を行つた、席上英佛大使は去る廿八日それぞれ本國政府より接受せる新訓令に基く英佛ソ協力に關する新方式をモロトフ委員に提示した模樣である

朴駐波總領事

【ワルソー一日發國通】新任ワルソー駐劄滿洲國總領事朴錫胤氏外四名の一行は一日午後四時五十分ワルソーに到着、直ちにエウベスキー・ホテルに投宿した

柞蠶製品統制會社
日滿兩國に夫々設定

【東京國通】最近滿洲國における柞蠶製品の市價昂騰により同製品の日本内地への供給は圓滑を缺くに至つたので、日滿兩國に於てそれぞれ需給統制會社（日本側資本金一千萬圓、滿洲側五百萬圓）を設立して需給調整を圖ることになつた、即ち滿洲國産の柞蠶繭、柞蠶綿、柞蠶糸、挽手その他の柞蠶製品は滿洲國側の統制會社で一手に集中して日本内地に輸出し内地側統制會社で一手に輸入しこれを國内向け、輸出向けの各關係業者團體に割當てるものでその需給統制要綱は左の如くであるが兩統制會社ともに來月中には創立を見るはずである、なほ日本側統制會社の參加團體は左の如くである

絹紬工聯、絹工聯、縮緬工聯、輸出絹紬工聯、輸出絹工聯、電線工聯、羊毛工業會、絹紡工聯、柞蠶糸卸商

組聯

△統制要綱

一、柞蠶製品の需給統制を圖るため日滿兩國で統制會社を設立す

二、兩統制會社は柞蠶綿、柞蠶絲、挽手その他の柞蠶製品（以下統制品と稱す）につき輸出入數量を協定す

三、兩統制會社は本統制品につき輸出入價格を協定す

四、本統制品の輸入爲替はこれを一手に日本側統制會社に許可す

五、日本側統制會社は國内向け柞蠶製品の製造に充てる本統制品の消費を一定數量に制限しこれを關係團體に割當てるものとす

六、日本側統制會社は國内品用の本統制品を原則として各消費團體に一定價格をもつて販賣するものとす

七、國内品統制品の販賣受渡しについては消費地に統制會社の代理店を設くることゝし從來の柞蠶綿、柞蠶糸挽手糸の卸賣業者をしてこれに當らしむ

八、輸出品用統制品については關係團體において內地流用阻止の統制を行はしむるとともにその製品の輸出確保を圖らしむ

海門港猛爆

【上海二日發國通】艦隊報道部二日午後四時發表＝

一、一日我航空部隊は浙江省海門港を攻擊し市內敵軍需品倉庫、兵舍及び棧橋に直擊彈を得何れも甚大なる損害を與へたり

△南支方面戰況

一、六月三十日福州閉塞作戰に呼應せる我航空部隊は興化東方の兵營を爆擊甚大の損害を與へたる外同下流にありし敵軍用機艇（約百五十トン）を銃擊しこれに多大の損害を與へたり

二、同日海南島奧地掃蕩中の陸軍部隊に協力せる海軍航空部隊は瓊文（定安東方二十キロ）の敵約一千を銃爆擊しこれを潰滅せしめたり

國民徵用勅令案
下旬發動

【東京國通】政府は刻下の戰時目的達成の一翼として銃後應召の重要任務を果すべき國民徵用令の發動に關し、さきに國家總動員審議會において可決された要項に基き厚生省企畫院、法制局等關係官廳の間で國家總動員法第四條に依る勅令案の立案を急いでゐたが、之が完成を見たのでいよいよ四日の定例閣議に附議決定の後直ちに上奏御裁可を仰ぎ遲くも十日頃には公布し所要の徵用動員計畫の整備を遂げ七月下旬には最初の徵用令の發動を見ることゝなつた、即ち第一回の徵用範圍は刻下の緊急を要する總動員業務に從事せしむる方針の下に極力一部分の業種に局限する方針で徵用計畫實施に要する豫算は豫備金より支出するに決定目下厚生、大藏兩省の間で折衝中で近日中に決定を見る見込みである

兩院休會明け
十日に繰上

【東京國通】政府は長期建設戰下議會政治運用の萬全を期するため議員制度審議會の決議に基き來る第七十五帝國議會より年初の休會明け期日を繰り上げ一月十日より再開、貴衆兩院の政府提出豫算案始め各種重要法案に對する審議を充分盡さしむる事に決定し近く政府より貴衆兩院當局に對し右休會明け期日を一月十日に繰り上げられ度き旨通告することゝなつた、しかして右議會再開期日は繰り上げ實施に伴ひ政府の豫算案及び各種法律案の議會提出も可及的に取急ぐ必要あるため平沼首相は一日午前十一時首相官邸に石渡藏相の來邸を求めて右意向を傳へ明年度豫算編成もこの方針に基き議會提出に間に合はせるよう至急取計はれたい旨を要望したが來る四日の豫算閣議席上首相より各閣僚に對し右方針の下に各省關係法律案も可及的速かに議會に提出し戰時下議會政治運用の眞義に沿ふよう努力され度い旨要望するはずである

瓊人治瓊目指して
海口民衆大會開かる

【海口二日發國通】廿年來全島民の疑志たる瓊人治瓊をスローガンとする海南島新政權樹立の民衆運動は六月十九日の瓊山市民大會を契機として急速に發展しつゝあつたが、一日午後三時より海口中華戲院において新政權樹立促進海口民衆大會が開催された、會場に詰めかけた民衆は二千餘名の多數に上り立錐の餘地もない盛況振りであつたが、大會はまづ餘團長の開會の辭、毛治安維持會長、唐自衞軍總司令を初め市民有志が交々立ち、この際全島民一致團結して奮起し有力なる新政權を組織して久しきに亙る軍閥官僚の苛政を一掃して眞に明朗なる新秩序を建設すべしと熱辯を揮ひ同四時盛況裡に意義ある大會を閉ぢた

滿洲野村證券準備委員

【大阪國通】野村證券では一日左記人事異動を發表した（括弧內は舊職）

△滿洲野村證券會社設立準備委員（靜岡支店長）藤井壽興治

（靜岡支店賣買掛主任）岸本正已

なほ同社は本店を新京滿炭ビルに、支店を奉天、大連兩地に置き從來の德泰公司はこれを吸收する豫定で、社長は野村證券社長片岡晋吾氏が就任するものと見られてゐる

穴の出ない雨馬場
興味加はる後半競馬へ

新京國立競馬春季第三次レース第四日目は前夜より降雨甚だしく聊か馬場を懸念されたが平場は比較的泥濘とならず方向變換及び障碍レースを平場に變更して開催、日曜競馬に滿場を唸らし頗る白熱戰を演じて第五日目を迎ふることになつた、當日は馬場不良の關係にて穴競馬を豫想されたが、本命馬斷然調子よく、第五競馬甲子の九十六圓三十錢第六競馬惠祥の五十九圓九十錢の外、第十レースの舞鳥三十二圓といふ穴配であつた

今日はまた七十七頭といふ顏觸れとなつたが、競馬は既に後半に入るの槪あり、興味は本格的な競馬となつて異變と波瀾の二重奏を織る恒例後半競馬を考へらるに到つたから愈々滿都ファンの熱狂振り見せて華やかな春競馬の掉尾を飾る優勝競馬へ急ぐことになら う

△　△

尚ほ當日に於ける成績は左の通りである

▲天氣曇　馬場不良

▲入場人員　四〇七四名

▲馬券賣上二四〇、〇二五圓

▲ガラ賣上　二六、五七〇圓

△第一競馬（二四〇〇米、二頭）1轟（三分三二秒四）2新松綠、配當ー單五圓七〇、搖彩票1六八圓二〇、等外一七圓

△第二競馬（一六〇〇米、六頭）1燕飛（二分三三秒）2大州（一〇馬身）3賽北（一馬身）4新京金波、配當ー單一四圓六〇、複1一〇圓七〇、2二三圓二〇、搖彩票1一六一圓二〇、2四〇圓三〇、等外一二圓六〇

△第三競馬（二二〇〇米、七頭）1榮生（三分一六秒三）2大鹿毛（首）3北龍（六馬身）4公流、配當ー單七圓五〇、複1六圓三〇、2一〇圓九〇、搖彩票1三八四圓、2九六圓、等外二四圓

△第四競馬（二〇〇〇米、六頭）1初二（二分三五秒四）2撫順國光（一〇馬身）3朝洋（八馬身）4大連金東、配當ー單一二圓三〇、複1六圓一〇、2五圓三〇、搖彩票1四八六圓四〇、2一二一圓、等外三八圓

△第五競馬（二、〇〇〇米、九頭）1甲子（二分五三秒四）2若駒（鼻）3紅燕（七馬身）4撫順筑波、配當ー單九六圓三〇、複1二六圓、2一三圓七〇、3八圓一〇、搖彩票1一一二〇圓、2三一〇圓、3一六〇圓、等外六六圓

△第六競馬（一、八〇〇米、九頭）1惠祥（二分四四秒二）2三七當（首）3天狗（一〇馬身）4第二演龍、配當ー單五九圓九〇、複1一二圓四〇、2七圓三〇、3六圓八〇、搖彩票1一一二〇圓、2三二〇圓、3一六〇圓、等外六六圓六〇

△第七競馬（一、八〇〇米、五頭）1大建壽（二分二二秒三）2華洋（八馬身）3新京若勝（大差）4金進、配當ー單六圓五〇、複1六圓二〇、2一六圓二〇、搖彩票1七一六圓八〇、2一七九圓二〇、等外七四圓六〇

△第八競馬（一、八〇〇米、九頭）1奉天木會（二分三三秒四）2勝駒（半馬身）3來北（八馬身）4宿禰、配當ー單一三圓四〇、複1五圓九〇、2八圓六〇、3六圓六〇、搖彩票1一三四四圓、2三四四圓、3一九二圓、等外八〇圓

△第九競馬（一、八〇〇米、四頭）1鵬飛（二分四〇秒四）2若登美（大差）3西天（五馬身）4福命、配當ー單六圓四〇、搖彩票1五九七圓、等外四九圓七〇

△第十競馬（一、八〇〇米、八頭）1舞馬（二分三八秒一）2超鵬飛（半馬身）3金嵐（一馬身半）4彪、配當ー單三二圓、複1六圓七〇、2八五圓四〇、搖彩票1一四三三圓、2三六〇圓、等外九六〇圓

△第十一競馬（一、〇〇〇米、八頭）1諏訪（二分三三秒一）2吾朗（三馬身）3自雷也（四馬身）4晴海、配當ー單一五圓九〇、複1一〇圓、2一一〇圓、搖彩票1一四六四圓、2一八一圓五〇、等外二〇四圓

△第十二競馬（二、二〇〇米、三頭）1金大川（三分一六秒四）2大光飛（九馬身）3一貫（七馬身）配當ー單六圓四〇、搖彩票四五八圓六〇、等外五七圓三〇

呑まず食はず沙漠をひた走り
敵地に不時着　福田伍長の生還

【〇〇基地卅日發國通】ボイル湖上の大空中戰に初陣の功名を樹てたが不幸愛機のガソリンタンクを射ちぬかれ涙を呑んで國境の大草原に不時着し泣きながら愛機に火を點じたのち基地を求めて二日二夜彷徨し

行きすがりの蒙古人の好意により無事基地に歸還した少年航空兵がある、〇〇隊の福田伍長は廿七日午前六時ボイル湖上空の大空中戰で敵のE十六機五機を相手に猛烈な空中戰鬪を演じてその一機を擊墜、ついで第二の攻擊に移らんとした刹那、背後より迫つたソ聯機に喉下がられ神技を盡して奮戰したが不幸敵彈にガソリンタンクを射ち拔かれたので已むなく機首を轉じ神の加護を祈りつゝ見渡す限りの大海原に不時着した、愛機を敵に渡すまいと決意した伍長は、重要書類と拳銃を身につけ涙のうちに愛機に火を點じ滿領へと走り續けたのである、烈々たる陽光の直射する草原を休む暇もなくひた走りに走つた、渴と空腹に幾度か倒れんとする身體を勵まして走り續夕陽草原の彼方に沒せんとする午後九時頃やつと蒙古包を發見することが出來た、敵かと緊張しつゝ拳銃を擬し包に近づいて行つたのであるが包から現れたのは人品いやしからぬ蒙古人であつた彼も時ならぬ

客人に

驚いたが見れば友盟日本の軍人であつたので鄭重な態度で包に招き入れ先づ水と角砂糖をすゝめた、伍長は思はぬ歡待に一氣に呑み乾した伍長は手まね口まね蒙古人に所在を尋ねると蒙古人は〇〇左翼旗と滿字で書き、自分は第二國民學校の教員で額仁生であると續けて書いた伍長は滿領であつたのにほつとし一夜をこの包でまどろみ東天ほのぼのと白むを待つて蒙古人の指さす〇〇基地へと走り續けた、友軍機が轟々たる爆音をたてゝ頭上を幾組も通りすぎた伍長はハンカチを振つて救援を求めたが遂に姿を發見して吳れなかつた、かうなれば走り續ける以外に途はないと決意した伍長は砂丘を越え濕地を渡りまつしぐらに走つた十數時間走り續けた福田伍長は力つきてばつたり草原に倒れてしまつた、時計は午後の五時を過ぎてゐた、この時轟々たる友軍機がまつしぐらに頭上に飛來して來たので伍長は懸命になつてハンカチを振り續けた、地上の求援に氣づいて兩翼を左右にふりつゝ友軍機は降りて來た、生還に

友軍機

に馳け寄れば戰友井上曹長だつた

「曹長殿！」

「おゝ福田か！」

こおどりしつゝとしつかと抱き合つて感激しばし、井上曹長は福田伍長を愛機に乘せ〇〇基地に歸還したのである

默々語らぬ
地上勤務員の勞
大勝の裏にこの努力

【〇〇にて卅日發國通】世界航空專門家を瞠目せしめてゐるノモンハン戰線における我が荒鷲部隊の華々しい戰果はひとりわが勇敢な搭乘者や優秀な機體ばかりのせゐではない、短期間に二百七十餘機を擊墜して赫々たる戰果の蔭にわが空軍の觸角ともいふべき國境上空監視の〇〇隊やまた空軍の保健醫の役目を引受けてゐる地上整備員の涙ぐましい勞苦のあることを忘れてはならないのだ觸角隊は今次事變が勃發して以來外蒙戰線二百キロ、彈丸が飛ぼうと、食糧が絕へようと常に皇軍の最前線にたつて不眠不休、パンタロのやうな敏感な情報網を張つてゐる、夜が四時間位しかない外蒙國境地帶では勞ひ上空監視の時間も長く每日廿時間近くも空ばかりを見て暮してゐるわけだが、そのお蔭で勇士等は誰の顏を見ても南洋の黑ん坊の樣に眞黑だ、「日燒けばかりではないのであります」といふ勇士等は事件はじまつてからまだ一回だつて風呂は勿論、顏も洗つたことはないのださうである、その上この部隊は水や人家のある地點から數十里も離れた不毛地帶に僅かな部隊で屯營してゐるだけ樂を恃みの外蒙軍から狙はれる度數も多い、二十七日の敵二百餘機襲來を〇〇基地に報じ見事重任を果したのもこの觸角部隊である、保健醫隊は百度以上を超す今日この頃ねぢ鉢卷に半裸體の姿も勇しく草いきれにうだる樣な〇〇飛行基地の草原を朝から晚まで汗だくだくで駈け廻つてゐる、飛行準備には搭乘者よりも早く未明にベッドを蹴り歸還後の手入れや修理には漆黑の闇が總てを見えなくするまで地上勤務員の眞劍な作業は續く「思ふ存分の働きが出來るやうに」「全性能を發揮して敵機を蹴散らして吳れるやうに」とわが荒鷲の保健醫等は外蒙國境に平和のたち返る日を期しつゝ默々とこの地味な作業に身も細る精魂を打込んでゐるのである

勝馬豫想

▲第一外馬障碍二、四〇〇米
穴一 玉輝 小川
二 金進 田部井
一着三 鯉瀧 松尾

▲第二春抽(丙)一、六〇〇米
一着一 賽北 岡野
穴二 新京金波 田部井
三 第一英飛 久保田
二着四 大州 內村
五 高良山 遠田

▲第三外馬方變二、〇〇〇米
穴一 王震 甲斐(啓)
二 大連金東 久保田
一着三 索天金風 田部井
二着四 華洋 脇山
五 出輪 梶原

▲第四抽古二、二〇〇米
穴一 北龍 小川
二 公流 落合
一着三 紅燕 久保
四 早姫 松本
五 自雷也 梶原
三着六 大鹿毛 內村

▲第五春抽(甲乙)一、八〇〇米
一 若登美 實田
二着二 華鬪 脇山
三 四天 落合
四 福命 遠田
五 新玉 田中
穴六 午林 松尾
三着七 礦十鳥 川本
八 旭旗 熊谷
九 第二演龍 田部井
二着一〇 三七當 岡野
一一 新京山城 甲斐(啓)

▲第六外馬一、八〇〇米
一 雲祥 熊谷
一着二 金駒 甲斐(啓)
穴三 旭正 久保田
四 朝洋 脇山

▲第七抽古一、八〇〇米
一 彪 脇山
三着二 撫順天榮 上原口
穴三 妙妙 梶原
四 公山 落合
五 菊香 內村
一着六 趙鵬程 田部井
二着七 來北 岡野
八 晴海 川本
九 天嵐 松尾

△第八抽古一、八〇〇米
穴一 奉天鮮勝 久保田
二 鐡駒 松尾
三 新旭 落合
一着四 熊本 小川
二着五 里仙 梶原
六 橫濱天勝 遠田
七 明月 田部井

▲第九抽古ハンデイ一、八〇〇米
一着一 金縮 田部井
二 第二春花 久保
三 壽飛威登 小川
三着四 睦月 上原口
二着五 天里矢 梶原
六 午陸 內村
七 鵬鯤 岡野
八 玄洋 谷尾
九 鳥渡 甲斐(啓)
穴一〇 大江戶 久保田

△第一〇春抽ハンデイ一、八〇〇米
一 玉鹿毛 松尾
二着二 武駒 田部井
三 王麒麟 岡野
穴四 鵬飛 甲斐(啓)
一着五 興亞 小川

△第十一抽古一、八〇〇米
一 鬯 實田
二 駒光 谷
三 新常陸 遠田
四 玉日本 脇
二着五 保玉武 內村
六 康山 上原口
穴六 吾朗 岡野
一着八 勝駒 落合
三着九 新京勝利 小川
一〇 新司 梶原

△第十二抽古障碍二、二〇〇米
一 大光飛 岡野
一着二 新松綠 松尾

風雲の滿蒙國境を行く

哈爾哈河畔に立ち 對峙の敵陣見る

暴虐つのる彼の挑戰

【〇〇にて二日發國通】火を吹くばかりに緊張してゐる滿蒙國境の最先端を視察すべく記者は六月卅日早朝〇〇を出發、叢に映える和やかな朝陽と幽遠の自然美に解け込んだ放牧の群を眺め幾つかの砂丘を越えて自動車を馳せて、〇〇對空監視所に到着した、この監視所からなだらかに下つた草原を徒歩で約四十分、記者等は哈爾哈河右岸地區に潜いた、對岸からの距離千五百米〇〇高地北方のこの外蒙領は雜草と砂漠と高臺である、記者の位置から見上げるやうな對岸の砂丘の上には、見える見える外蒙兵がうよ〳〵してわれわれを警戒し、ジーッと監視の目を注いでゐる、騎兵部隊約四、五百が二、三ヶ所に集結してその間には裝甲車戰車が走りぬける、騎兵隊の一部がタターと前進して河岸近くで降り立ち、われわれを威嚇する陣形をとつて來た「何を」と思ひながらも記者は背筋に冷いものを感じたその中にはソ聯人とおぼしき者が立つて指揮してゐる双眼鏡を當てると正しくソ聯軍の將校だ、ひしひしと迫る危險を感じ記者が少し上方に位置を變へるとアッこちら側の岸を駈け下りて外蒙騎兵が三名慌てふためいて河を渡つて行く、水流に向つてダラダラと三、四百米も馳せ下つて、水流に馬腹までも浸けて逃走して行く、騎馬の水を蹴る音がガバガバと聞えた、この目で見る外蒙兵の越境、じつと見てゐると同行の一人は「こんなことは普段のことですよ」と敎へて呉れたこの附近の哈爾哈河は河幅約三百米、向側には緩慢な濕地地帶の丘によつて造られた岸もあれば、切り立つた砂の岸壁をなしたところもある、相當流れの早い哈爾哈河は黄色に濁つた水をボイル湖に向つて注いでゐる、上方に向つて右岸を徒歩すること約一時間對岸を覗いては隱れ、隱れては覗き双眼鏡でじつと見る餘裕なんか勿論ない、ひやひやしながらも記者はこの高臺にある外蒙兵の動きを充分見ることが出來た、運命の國境線哈爾哈河は今にも紅蓮の焔を吐かうとしてゐるのだ、哈爾哈河岸を離れて〇〇監視所に歸り眼鏡を借りると、さき程見た外蒙軍の戰車が騎馬兵の樣にも見え前面一つぱいに南北に走つてゐる、高臺にはあちらにもこちらにも外蒙部隊が散在してゐる、この〇〇監視所から北に向ひ對岸と約四五千米の距離をとつて百度近い炎暑の下を一日がかりで視察した、外蒙兵の動きはソ聯將校の指揮する外蒙兵、ソ聯政府に使嗾され心にもなく日滿兩軍に對峙する外蒙兵、不法越境を絶え間なく繰返すソ聯の實情をまざまざと記者の眼に頭に見やきつけたものであつた【寫眞は一休みの我が勇士】

新京米穀配給組合創立總會

新京米穀配給組合創立總會は一日午後一時半から組合員百卅名出席、新京商工公會々議室で開催、三浦商工公會常務理事の開會の辭、發起人代表福田右一氏の經過報告についで福田氏座長席につき定款並に業務規定を審議、職員選任に移り左の如く正副理事長以下理事、監事を選任、理事長挨拶の後范新京特別市行政處長の訓辭、商務司長（代理）松井特産科長、齋藤滿洲糧穀會社監事の祝辭があり同四時終了した、職員氏名左の如し

理事長 福田右一（福田商店）▲副理事長 王信之（長記棧）岩田公六郎（官消）▲理事 林本由松（日鮮精米）杉尾正一（杉尾商店）橋本勝茂（唯一公司）金道根（日隆號）孫壽山（穀豐號）藏而夫（春生潤）鐵啓昌（永順公恒記）監事 西村滿兵衛（西村洋行）曹鵬飛（同義隆）

なほ同組合は米穀管理法に基き滿洲糧穀株式會社と密接な連絡を保ち米穀配給の圓滑及び價格の適正を圖るために創立されたもので組合員百七十一名、米穀の小賣價格及び取引條件ならびに組合員に對する配給數量割當の決定をなすものである

外蒙ソ聯軍の暴狀

溫順な喇嘛僧も激昂

【〇〇二日發國通】將軍廟は蒙古名をヂャンジュンスムといひハルハ河支流ホルステイン河が流れてゐるさゝやかな湖水の附近にあるラマ敎の寺院である甘珠爾廟と同じやうに多數のラマ僧がゐてホロンバイル東南地方の蒙古人が歸依してゐるが、廿三、四兩日ソ聯軍が亂暴にも戰車、裝甲車で押寄せてラマ寺院に目茶苦茶に銃彈を浴びせかけ一部を破壞したといふ噂はぱつと蒙古包に傳はり度々牧場の牛や羊を爆彈で殺傷したばかりかラマ寺院まで破壞するとは何事だと蒙古人の激昂甚だしくラマ僧を中心に協議する等溫順そのものゝやうにいはれてゐる彼等もソ聯軍の暴狀には流石に堪へかねたと見え滿洲國の力を藉り外蒙古を蒙古人の手に返さねばならないといふ聲が昂まつてゐる

外蒙兵投降

【〇〇二日發國通】二十七日夕刻のノモトソーリン南方五キロの地點で白いハンカチを振りながら投降して來る一外蒙兵を滿軍監視哨が發見これを本部に同行取調べたところ右はトムドンザムツ（二七）といふタムスクにあるソ聯部隊所屬の兵士であつてこの度投降申出に至つたわけを次の如く語つた

私は滿洲國は實に恐しいところとかねがね敎へられてゐましたがあるキッカケから滿洲國が實に住みよい王道樂土であることを知りかねがね逃亡の機を狙つてゐたところ今月はじめタムスクを出發してソフトスンブルに到着、國境警備に當ることゝなり直ちに脫走を計畫した次第です、外蒙では今日本や滿洲國に對するデマ放送が盛んに行はれてをり空中戰でも十三機日本空軍が來たがその中十二機を擊墜し一機は遂に逃げたと宣傳してゐます、日滿軍の實に親切なことが實際に來て見て判り本當に嬉しく思つてゐます

同人の經歷は十才から廿六才までラマ僧であつたが昨年九月ウランバートルで强制徵集され今月はじめタムスクに移駐されたものである

將軍廟激戰の跡

【〇〇二日發國通】西將軍廟の戰鬪の跡は敵の狼狽ぶりを物語るかのやうに火を吐く戰車、泥だらけの小銃、革帶、拳銃等が草原濕地の下に四散してゐるが、これ等兵器は全部ソ聯製で鎌と鎚の交叉したマークが明瞭に刻まれてゐる中でも優秀なレンズの双眼鏡がケースに入つた儘遺棄されてゐたが、これなどは一九三〇年ソ聯製なる旨がはつきり刻まれてゐる、これ等より推して今次の度重なる不法國境侵犯は第一次ノモンハン事件における外蒙軍を主力とした攻擊體制を變へてソ聯自身第一線に立つて前回失敗の名譽回復を相當な決意を以て企圖してゐることが判明した

敵を間近に引つけ 斷乎一齊驅逐

豪膽自若の〇〇中尉

【〇〇二日發國通】六月廿三日より四日にかけての西將軍廟前面における戰鬪でわが軍は數倍する敵に斷乎鐵槌を下しこれに多大の損害を與へて國境線外に驅逐し國境の固き護りを示したが、わが部隊には支那事變で十數人を斬倒した〇〇中尉が居り、雨と降る敵の銃砲彈下にありながら餘り遠距離であるため射擊効力なしと見、心はやる部下を制し自若として徐ろに敵がわが軍の正確なる射程圏内に入るを待つた、それとも知らず侮つた敵砲兵部隊が四、五百メートル先にさしかゝるや「頃は良し」と同中尉の命令一下わが軍は一齊に銃火を浴びせ浮足立つた敵に對して肉薄攻擊を敢行したゝめ敵軍は收拾すべからざる大混亂に陷り潰滅的打擊を蒙つたのである

樂しむ蒙古人で 賑ふ廟會近付く

角力大會に優勝旗

空はコバルトに澄みわたり高原一面に名の知れぬ百花撩亂と妍を競ふころになると蒙古名物の一つ廟會が開かれる、この廟會は蒙古人の信仰心を更に上に高めることは勿論であるが彼等の一年中の所要物資の仕入れ時でもある、從つて外蒙古はもとより遠く邊境から續々と集まる人々の群で今まで寂寥殺風景であつた高原には時ならぬ雜沓の市が開かれその週間に於ける取引は數十萬圓の巨額に達すると云はれてゐる、就中白溫線葛根廟、東新巴爾旗の甘珠爾廟、興安西省の大板上廟は最も大なる代表的なもので、本年の廟會は葛根廟で七日二十九日から八月一日まで、大板上は八月一日から五日まで開かれることに決定した、本年は特に滿洲國政府並に協和會、蒙古會館ではこの廟會に主きを置き期間中は

ラマ念經、ラマ跳鬼、講演、學藝品展覽會、度量衡展覽會、衛生展覽會、施療施藥、紙芝居、映畫、各旗對抗角力大會、家畜共進會、競馬大會、花火大會、旗民大運動會、家畜市、商品市等盛澤山なプログラムが組まれてゐる、この行事のうちでも各旗對抗角力大會には蒙古會館から五輪の優勝旗を出しその優勝チームは明年國都を訪れ在京日滿民と對抗角力を行ふ豫定である【寫眞は蒙古會館から授與する優勝旗】

鄂博祭りも復活

古來遊牧蒙古人は習慣的に人畜平安祈願、或は軍事に關する尙武精神發揮のため山川諸神を奉祀する鄂博祭りを盛大に開帳することになつてゐる就中克什克騰旗巴彥珠力克鄂博會は蒙古唯一の大規模なもので遠く外蒙古方面からも參拜者がある程であつたが建國以來次第に衰微の一途を辿りつゝあるので現地旗民はこれが復興を熱望してをりかたがた旗公署、協和會省本部でも種々な意味に於て本年は最も盛大に舉行することゝなり目下準備を整へてゐる、本年は期間中映畫並に講演による宣傳、地方有力者、ラマ僧其他各機關代表の座談會等を開催し、一般參拜者に對しては施療施藥を行ひ蒙古呼び物の角力、競馬等の優勝者には賞品を授與する筈である

苺狩申込者へ

皆さん待望の土們嶺苺狩りハイキング團體は二日催す筈でありましたが、生憎の雨で來る九日（日曜日）に延期致しました、參加申込みをした人で九日に都合が惡く中止される方は會費をお返しいたしますから至急來社下さい、會員は車の都合で前回通り百五十名ですが參加中止される方があればその數だけ新しい希望者を先着順で補充致します、時間その他既定の通りです

高校の入學資格 中學卒業を原則

【東京國通】中等教育の改革に關し審議中の教育審議會特別整理委員會では卅日の委員會で中學校と高等學校及び大學豫科との連絡問題を論議の結果、高校、大學豫科には中學校卒業を以て入學資格とするを原則とすることに決定した、但し中學校第四學年終了者にして特に優秀なる者はこれを嚴選し當該校長の許可を俟つて受驗するを得せしむる事の例外を同時に承認したがこれは現行制度の四年終了程度を以て入學資格としてゐるのとは根本的に異り頗る注目に値する

不良半島人一味 警察官を袋叩き

モカに深夜の亂鬪

二日午前一時三十分頃日本橋通五八カフェーモカで金榮祚（二八）他三名は些細の事から仲間同志の大立廻りとなり喧嘩を極めてゐた醉客同志もこれがトバッチリを喰つて怒り出し中には立廻りに加はつて毆り合ひを始めるなど全く手のつけやうもない時、密行中の中央通署鄕刑事が深夜の騷然たる怒聲に不審に思ひ這入つてみるとこの有樣なので取鎭めんとして亂鬪中の一人を捕へたところ「貴樣は誰だ何で留める、離せ」とわめくので「中央通署の司法刑事だ」と云ふやいなや「貴樣、ニセ刑事だな」とばかり打つて掛かり、果は仲間も今迄の毆り合ひを止めて「ニセ刑事をやつゝけろ」と多數醉客も混つて袋叩きに遭はせんとしつゝあつた時急を聞いて馳せつけた日本橋通派出所員にも打つてかゝり官服のボタンを全部モギ取る暴行を働いたが、鄕刑事と派出所員とによつて金榮祚を連行したが、取調べの結果同人は拳鬪が出來るところから常にカフエー、料理店街を肩で風を切り見貴ぶつてゐたものでモカの亂暴もこの種惡辣行爲の仲間割れからとみられ目下逃亡の仲間を嚴探中であるが、近來しば〳〵行はれたネオン街のダニ檢索網を巧に逃げ落ちた輩とみられてゐる

大同劇團地方公演

二日朝地方公演に出發することとなつてゐた大同劇團棋本氏一行十七名は都合に依り四日朝十時半の列車で出發延期となつた

一行は先づ吉林を振出しに五日間の豫定で路佳、樺皮廠方面を巡回、歸る間もなく十五、六、七の三日間に亘り協和會館の滿語小公演に出演、終れば直ちに秋の大公演會に備へハリ切つて練習を開始することゝなつてゐる

飾窓裝飾競技 賞品授與

新京商工公會商工相談所主催第一回飾窓裝飾競技大會當選者日本人側みしまや呉服店以下十四軒、滿人側老天合以下十四軒を〳〵決定、多大の成果を收め盛會裡に閉會したが二日午後二時から商工相談所に於て關係者參列の下に右當選者に對し賞品授與式を舉行した

全滿中等籠球 大連優勝

第一回全滿中等學校都市代表籠球大會は二日午前九時より敷島高女室内コートに於て舉行されたが、結局大連の制覇成つて榮えある優勝杯を獲得した、成績は左の通り

△一回戰

		前半	後半		
哈爾濱	27	18—14	9—12	26	吉林
大連	50	14—20	36—7	27	新京

△準決勝

		前半	後半		
安東	40	23—14	17—12	26	哈爾濱
大連	31	18—16	13—14	30	奉天

△決勝

		前半	後半		
大連	41	16—18	25—19	37	安東

市内の數ある特殊會社の裡で最近最も活潑に活動してゐるのは設立日尙淺い生活必需品會社である、とは特務警察官の眼に映つた僞らぬ報告なのである▼ところがその活潑なる活動の原因が女性と因果關係があると言ふ新原理が發見されたのである、即ち生活必需會社設立以前に於ては女事務員の最も多かつた電々が群を拔いてゐた▼さらに今日では生活必需品會社が電々を拔いて活潑な動きを示すに至つた、原因は事務員中女事務員の割合が特殊會社中一位を占むるところにあると言ふ▼結局會社の能率を舉げることは女事務員を增すことにあると結論が下されたのである、人的資源に惠まれぬ今日あり餘る女性によつて能率が舉がると言ふことはまことに愉快な發見である、女性よ、あなたは强かつた

語學講習會

新京特別市第十五回語學講習會は大經路國民優級學校の講習所で開催されるが、滿洲語、露語は十四日より、日本語は十五日より、共に午後六時半より開始される、一般市民多數の受講を希望してゐる

女人果（七十三）

小栗虫太郎作　中島喜美畫

哀戀無絃（仲子の手記）（3）

その聲には、やさしいながら歷するやうな響きがあつた

仲子は、肩口からぐいと持ちあげられたやうに、顔をあげてしまつた。

『それは……仲ちやん、ほかの事ぢやないんだけど。あんたに、子岐さまのところへはお葬式にも行つてはいけませんよ。』

『……。』

『分つた?』

『何故です?』

仲子の、聲はするどく、恨めしげであつた。

『行つては、どうして不可ないのです?』

『それは……仲ちやんのからだが、危險だからですの。御覧、兵士たちの眼には、なにが燃えてゐませう。』

『……。』

『あんたは、自分を見られる眼か、なんと云つてゐると思ふ?』

『……。』

『分つて……?。いま。仲ちやんは大變な危險にあるのですよ。幹部の人たちは、お母さまを説き伏せて、引き入れやうとしてゐる。つまり、軍醫にしやうとしてゐるのです。』

『……。』

『ですから、お母さまの側にゐる限りは、なんの危險もありません。しかし、幹部の胸なんぞは、兵士たちには分りませんよ。』

『……。』

『ねえ、ですから、決して出ないこと。あんたが身に純潔を保つといふことは、なによりも、子岐さまの眠りを安らかにさせるのです。分りましたね。子岐さまは、あんたさへ純潔なら、決して死んではゐないのですよ。』

仲子は、眼をあけて、ぢいつと母を見た。

（胸に生きる）

とたんに、強い衝動のやうなものを、感じた。

（これから、日は經ち、月は轉じ、年は過ぎる。子岐さまのことを時折想ひ出す私は、むしろ異郷の感じがして、そこへ住み慣れてしまふかも知れない。）

死んで、いつかは忘れられてしまふ……。

そんなことが――。

と、仲子は引き緊めるやうに、胸をせばめた。

（さようなら、子岐さま、）

むしろその聲は、肉體を離れた靈を吸ひこむやうに、力強かつた。

頼江は、ぢつとわが娘の、逼迫した表情をみてゐたが、

『だけど、あんたが強く生きて正しく行くと云ふことも、子岐さまの死後を、お倖せにすることですよ。お母さまはあなたの愛が大きなことも、悲しみもよく分ります。だけどそれが因で煩つたりしては子岐さまがお睡れにはなれませんよ。』

『……。』

『分つて?!』

『ぢや、お母さまにこれが誓へて?』

『……。』

『第一に、お母さまが云ふのを、絶對に信用すること、』

頼江は、涙の膜をとほしてぢつと仲子の眼をみてゐたが

『さう、分つたわね。』

と、同意の色をみてか、悦ばしげに云つた。

『それから、お母さまの側を一分も離れてはいけないこと　つまり、その二つなんだけど……。』

それから頼江は、仲子の肩をかゝへて、部屋へ連れて行つた。

しかしその時、植込のなかゝら二つの眼が覗いてゐたことは、二人も、遜る兵士も、一人として知らなかつた。

けふの番組

〔M・T・C・Y　新京放送局〕三日（月曜日）

◇朝◇

六、〇〇　建國體操

六、一八（大連）入港船のお知らせ

六、二〇（東京）ニュース

六、三〇（大連）初等滿洲語

講座

六、五五（奉天）朝の修養　秩父固太郎

禪談（三）　深井秀夫

七、二〇（大連）朝の音樂（レコード）

ヴアイオリンと管絃樂

スペイン交響曲　ラロ作曲

ニ短調　フーベルマン

八、二〇　氣象通報

八、二五（東京）建國體操

九、〇五（東京）經濟市況

九、三〇（東京）經濟市況

一〇、〇〇（大・新）經濟市況

一〇、〇五（大連）幼兒の時間

うたのおけいこ（一）

夏のうた　河野良子

一〇、二〇（大連）家庭講座

郷土教育について　湯下誠一郎

一〇、四五（哈爾濱）家庭メモ

一〇、五〇（哈爾濱）料理獻立

一一、三五（大連）經濟市況

一一、四〇（東京）經濟市況

◇晝◇

一一、五九（東京）時報

一二、〇一（奉天）

晝の演藝

バンドネオン獨奏　小高繁夫

ギター伴奏　佐々木久夫

タンゴ　イエボカション　外六曲

ベネテイクト作曲

一〇、三〇（東・新）ニュース

一一、〇〇（大・新）經濟市況

二、一〇（大・新）經濟市況

三、二〇（東京）經濟市況

四、〇〇（東京）ホユース

氣象通報・ニユース

四、四〇（大・新）經濟市況

五、二〇（奉天）ニュース

「鮮語」演藝「鮮語」

◇夜◇

六、〇〇（東京）

子供の時間

對話劇

世界の出來事　西村晋一作

伯父さん　一宮趣助

陸男　牧野末男

良子　田中英子

六、二〇（東京）コドモの新聞

六、二五（奉天）趣味講演

滿洲産觀賞魚の話　安東盛

七、〇〇（東京）ニュース・勤勞奉仕隊ニュース・ニュース・告知事項・今晩の番組

七、三〇　ノモンハン事件と一、少年團代表　水島道倫

二、青年團代表　新京白菊小學校六年生　新京中學校五年生　平岩不二男

七、四〇（東京）講演

最近に於ける我海軍界の情勢　澤井謙吉

八、〇〇（東京）講談　河村瑞軒　大島伯鶴

八、三〇（安東）聲帶模寫

一、小鳥數種

二、生態數種　又は時鳥の聲　除殿福

八、四〇（安東）混聲合唱

新義州第一教會聖歌隊

（イ）合唱　文雅玉

（ロ）合唱　神のめぐみ　主の御前に來れ

（ハ）二重唱　讃へよ主を

（ニ）合唱　主を信ぜよ

（ホ）合唱　白合の話

九、〇〇（大阪）義太夫

花上野譽の石碑

志度寺の段

淨瑠璃　竹本文字太夫

三味線　野澤吉左

九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解説

氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組

一〇、三〇　今日のニュース

一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

月曜　辛丑　先負　危宿　舊七月五日　十三日　東京・本郷・神誠館

●一白の人　一時調子付きたる咄しも後は破れ易し注意　巽と甲と南が吉

●二黒の人　花々しき榮進はなくとも隠れたる功ある日　乾と巳と巽が吉

●三碧の人　萎微の風は怠慢より來る腕一杯に働くべし　西と壬と巳が吉

●四緑の人　靜かに安らかに氣永に辛抱すれば吉日たり　壬と甲と丁が吉

●五黄の人　一矢は折れども三矢の力は強し氣を揃へよ　乾と己と巽が吉

●六白の人　此より吉くなる初め支障の爲め氣を折るな　壬と巽と丁が吉

●七赤の人　目先きを捨て大局に着眼して働けば大勝利　東と西と壬が吉

●八白の人　徳を以てすれば如何なる魔も犯し得ざる日　東と甲と己が吉

●九紫の人　謙遜の徳は我を樂園に導くものと知るべし　南と北と甲が吉